キャラクター名: 篝火 厭夜

プレイヤー名:

シンドローム	エンジェルハィロゥ モルフェウス	ワークス	UGNエージェントB	カヴァー	何でも屋
オプショナル	ブラックドッグ	年齢	30	性別	男
覚醒	犠牲	衝動	殺戮	初期侵食率	38 %
出自	天涯孤独	経験	一匹狼	邂逅	忘却

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値
肉体	1	0	0			1
感覚	5	1	1			7
精神	1	0	0			1
社会	1	0	0			1

HP	23
行動値	15
(非装備時)	15
戦闘移動	20
全力移動	40

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃	1		ＲＣ	1		交渉		
回避			知覚	1		意志			調達	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：UGN	2	
運転：			芸術：			知識：			情報：噂話	4	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
▼武器		0				
ｲﾝﾌｨﾆﾃｨｳｪﾎﾟﾝ	白兵	1r	3	9		
		0				
▼マイナー		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

合計装甲：	0	合計回避：	0

所持品	
夜の小鳥	
コネ：情報収集チーム	
コネ：要人への貸し	
コネ：情報屋	

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイタス	消費
遺産継承者《レガシー》	P	N		
仇敵	P 感服	N 敵愾心		
神楽沢 桔梗	P 信頼	N 嫉妬		
"タイクーン" 半田半蔵	P 尽力	N 不安		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 4	残り財産P： 0

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果：	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果：	コスト分のHPで復活							
陽炎の衣	3	3	ﾏｲﾅｰ	至近	自身	自動	-	
効果：	MP終了まで隠密状態/1ｼｰﾝLv回							
ｲﾝﾌｨﾆﾃｨｳｪﾎﾟﾝ	2	3	ﾏｲﾅｰ	至近	自身	自動	-	
効果：	武器作成							
光芒の疾走	1	1	ﾏｲﾅｰ	至近	自身	自動	-	
効果：	戦闘移動　離脱可							
C:ｴﾝｼﾞｪﾙﾊｲﾛｳ	2	2	ﾒｼﾞｬｰ	-	-	ｼﾝﾄﾞﾛｰﾑ	-	
効果：	C値-[Lv]/min7							
光の舞踏	1	2	ﾒｼﾞｬｰ/ﾘｱｸｼｮﾝ	武器	-	白兵	-	
効果：	判定を【感覚】に変更							
見えざる死神	2	2	ﾒｼﾞｬｰ	武器	単体	白兵/射撃	-	
効果：	隠密時のみ/D+1,攻撃力+Lv*3							
ガラスの剣	1	2	ﾒｼﾞｬｰ	武器	単体	白兵/射撃	-	
効果：	ﾘｱｸｼｮﾝD-Lv+2							
アームズリンク	2	2	ﾒｼﾞｬｰ	武器	単体	白兵/射撃	-	
効果：	D+Lv							
ライトニングリンク	2	4	ﾒｼﾞｬｰ	武器	単体	白兵/射撃	ﾘﾐｯﾄ	
効果：	攻撃力+Lv*4/HP5点減少							
光と闇の眼	1	-	常時	至近	自身	自動	-	
効果：	隠密状態のｷｬﾗｸﾀｰをﾒｼﾞｬｰの対象にできる/侵蝕率+4							
天使の外套	1	-	ﾒｼﾞｬｰ	至近	自身	自動	-	
効果：	自分の姿に別の姿を上書きする							
壁抜け	1	-	ﾒｼﾞｬｰ	至近	自身	自動	-	
効果：	壁などの障害物を無視して移動する							
効果：								

かがりび えんや

・パーソナリティ
落ちこぼれUGNエージェント。
性格は根暗で卑屈。自分を卑下するような発言が多く、好意的な扱いを受けると挙動がややおかしくなる。夜が好きな夜型で昼は眠そうにしている。名前負け。
両足にガラスの義足を履いており、普段は《天使の外套》で普通の脚のように見せている。
身長、体重はガラスの義足時のもの。材質や形状変化により多少増減する。

以前はFHマーセナリーとして窃盗、暗殺、工作等々を行っていた。
良くも悪くも手先が器用で手癖が悪い。

因みにコードネームは自ら名乗っているものであり、UGNやFHの中には、姿を変えても隠し切れないガラスの足音から「サンドリヨン」の名で呼ぶ者も少なくないようだ。

・オーヴァードとして
器用貧乏を体現したトライブリード。
10年以上前にジャームが引き起こした列車事故に遭い、両親と妹を亡くし、生き残った彼自身も両足を切断する大怪我を負った。その精神的ショックで覚醒したらしいが、本人はよく覚えていない。
戦闘時は義足を刃のように変形させ、姿を透明化して死角から接近し急所を切り裂く。
自らが放つ雷光にその身を焼かれながらの捨て身の一撃は、不可視であることも相まって回避するのは困難。
特別戦いのセンスがあるわけではないが、体の柔軟さと研ぎ澄まされた五感を生かしたバレエのような体術は彼独自のものだろう。